

「平成28年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第3回）」
議事概要

I 日 時

平成28年12月6日（火）15:00～17:00

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

松田 憲二（有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング 代表取締役）

和田 義博（公認会計士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

- ① 平成29年1月から3月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成28年7月から9月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

（2）その他

V 議事内容

- (1) ① 平成29年1月から3月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成28年7月から9月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
- I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
 - III：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 企画競争で調達を行う際には、企画競争を採用する必要性を十分に検討するとともに、調達後には予算額の妥当性や業務履行の品質の評価を行い、企画競争での調達の要否について検証すること。</p> <p>② 総合評価落札方式を用いた調達について価格点と技術点の得点配分について、明確な基準を設けること。（1：2と1：3の違い等）</p> <p>③ 一者応札を回避する取組みによって調達コストの削減を実践している。応札者数を増やすよう引き続き取り組むこと。</p> <p>④ 入札において複数者を落札者とし事業を履行させる際には、どのような基準で選定するのか、また、発注する際にどの業者へ依頼するのかという点について基準を設けること。</p> <p>⑤ 極端に安価な入札となった際には業務履行の品質に注視すること。そのうえで予定価格の設定に不備があったのであれば次回調達時には是正するよう努めること。</p> <p>⑥ 資料（総括表・各点検調書）については、より見易くなるよう工夫し作成すること。特に前回調達価格については、今回調達の見込額との単純比較が可能となる記載を心掛けること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいります。</p>

(2) その他

平成28年12月～平成29年3月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。